とだ 議会だより

No.236
9 令和８年 月定例会
発行：2026年11月1日



議会を知っtoco（トコ）！

スペシャルツアー開催

とだみらい会議
議会を知っtoco（トコ）スペシャルツアーを開催 ▷2
令和７年度決算を認定！ ▷4
そこが聞きたい！一般質問　22人の議員が質問 ▷9

Instagram　Facebook　戸田市議会HP

戸田市議会　検索

https://www2.city.toda.saitama.jp

表紙：とだみらい会議 2026 議会見学ツアー

市制施行60周年記念 とだみらい会議 2026

議会を知っtoco(トコ)! スペシャルツアー開催



とだみらい会議の流れ

- 10分 開会挨拶・説明
- 45分 議会フロア見学
- 15分 議場に戻って議会クイズ
- 10分 模擬投票
- 5分 質問タイム

未来の戸田市を担う子どもたちが議場を大冒険！

夏休みの１日、市役所７階の議場が子どもたちの熱気に包まれました。議会の仕組みを学び、模擬投票を体験した子どもたちのいきいきとした様子が伝わってきました。



三輪なお子　議長

戸田市議会では、議会のことを広く知ってもらい政治を身近に感じていただくきっかけとして、８月16日に市内の小・中学生を対象にした夏休み特別企画「市制施行60周年記念 議会を知っ toco(トコ) スペシャルツアー」を開催しました。当日は小・中学生27名と保護者が参加し、議会フロアの見学や模擬投票などさまざまな体験を行いました。

本物の議席でドキドキの議員体験！



議会フロア見学

市議会議員がガイド役となり、子どもたちや保護者と一緒に議会フロアを巡りました。それぞれの部屋を移動しながら、「みんなが通っている学校に関することや遊んでいる公園の整備など、戸田市をもっと住みやすくするための大切な話し合いをしているんだよ」と、議会の役割を交えて分かりやすく解説。子どもたちは議員の説明に真剣な眼差しで耳を傾け、積極的に質問する姿も見られました。



楽しく学ぶ！～議会クイズ

「戸田市議会議員の人数は何人でしょう？」「議会は年に何回開かれる？」といった、戸田市議会にまつわるクイズが出題されました。子どもたちは元気に手を挙げて参加。正解が発表されるたびに一喜一憂し、楽しみながら知識を深めていました。



楽しく学ぶ！～模擬投票

未来のリーダーを選ぶ「とだみらい市長選挙」模擬投票！





実際の選挙で使われる投票箱を議場内に設置し、本格的な模擬投票が行われました。「とだみらい市」の市長に立候補した個性豊かな３人の候補者が、まちづくりのマニフェスト（公約）を掲げて熱い選挙戦を繰り広げました。
子どもたちは、どの候補者に投票したらすてきなまちになるか、真剣に考え、一票を投じました。本物の投票箱に用紙を入れる瞬間は、少し緊張しながらもうれしさいっぱいの表情を見せていました。

参加者の声（小・中学生）

- 「議員さんが優しく案内してくれてうれしかった！」
- 「どの候補者が良いまちにしてくれるのか考えるのがワクワクした。」
- 「自分たちの生活と政治がつながっている実感が湧きました。」

参加者の声（保護者）

- 「家庭でも選挙や市のニュースについて話す良いきっかけとなりそうです。」



令和8年9月定例会

8月24日～9月18日

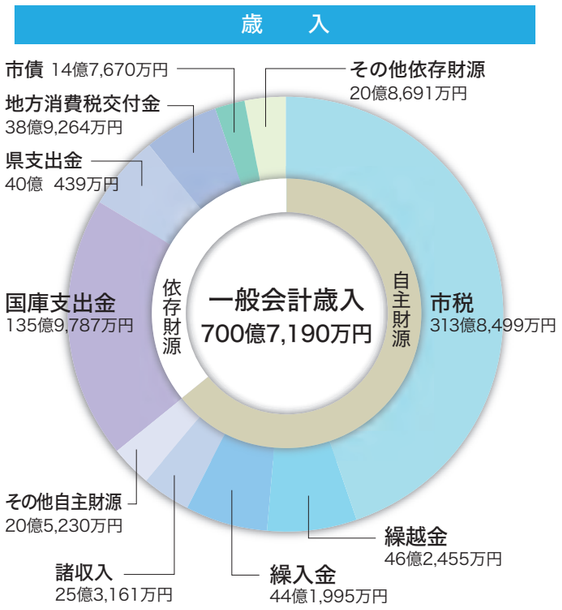
議案などの詳細はこちら

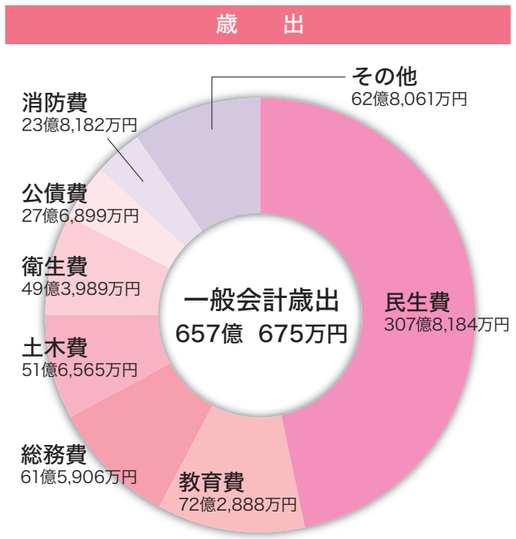
主な議案

今定例会では、令和７年度決算を含め、市長提出議案などが３０件、議員提出議案が６件、陳情が１件提出されました。ここでは、決算の概要と主な議案を紹介します。

令和7年度決算を認定！

令和7年度一般会計決算では、前年度と比較して歳入が2．1%、歳出が2．7%の増加となりました。歳入は、前年度と比較して約14億6,875万円増額しており、市税をはじめ、国庫支出金、繰越金などの増加が主な要因となっています。歳出を占める割合では、社会福祉に関する費用である民生費が４６．８%で最も多く、教育費が11．0%と続いています。





※千円単位は四捨五入
（合計と内訳の計が合わない場合があります）

定例会初日には、代表監査委員である小川千恵子氏による監査報告が行われました。



一般・特別会計、上下水道事業会計は、いずれも健全財政を堅持

小川代表監査委員

◉令和７年度　健全化判断比率※

比率名	令和７年度	令和６年度
実質赤字比率	ー　(11.63)	ー　(11.68)
連結実質赤字比率	ー　(16.63)	ー　(16.68)
実質公債費比率	7.5　(25.0)	7.8 (25.0)
将来負担比率	27.9 (350.0)	23.1 (350.0)

単位%

①(　)は財政の健全化が必要とされる早期健全化基準を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「ー」表示となります。

特別会計決算

歳　入	243億3,503万円（前年度比3.3%増）
歳　出	232億7,019万円（前年度比2.0%増）

水道事業会計決算

収益的収入	33億4,424万円
収益的支出	25億9,795万円
資本的収入	2億1,786万円
資本的支出	9億　541万円

下水道事業会計決算

収益的収入	26億8,188万円
収益的支出	24億9,943万円
資本的収入	20億7,669万円
資本的支出	31億5,662万円

※千円単位は四捨五入

※健全化判断比率…自治体の財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために定められた４つの指標

一般会計

認定第１号　令和７年度戸田市一般会計歳入歳出決算認定について

令和７年度 一般会計決算を認定

Q 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助事業の予算執行額、課題の認識は。

A 予算執行額は予算額50万円、執行額50万円、執行率100%。補助金申請者数は13人、補助金交付件数は29件。補助金交付額は、例年年末頃予算額に到達しており、予算執行状況等を踏まえた予算額の計上が課題と考える。

Q 下笹目バスターミナル再整備工事の入札不調となった経緯は。

A 令和７年６月と令和８年２月の一般競争入札は応札者がなく、令和８年５月の指名競争入札は予定価格超過で不調となった。事業者へ超過する理由をヒアリングしたところ、バス運行下では作業制限や複雑な工程管理等を伴うため、難易度が高く、また、建築士等の確保も難しく、制約の多い工事は慎重にならざるを得ない。さらに、中東情勢などにより、資材調達や価格の不安定さもあり、熟慮の上、受注を判断しているとのことである。

認定（賛成21人 反対3人）

反対 日本共産党戸田市議団 本田　哲 議員

実質収支比率は黒字だが、一方で市民に十分な行政サービスが行われていたか。余剰金を全額財政調整基金に積むことなく、物価高対策、生活支援策として市民へ還元すべき。

賛成 政策ＴＯＤＡ 遠藤 英樹　議員

賛成するが一部要望する。物価高を考慮した予算編成、可能な限り資源を投入した雨水対策の加速、自治体基幹業務情報システムの国の共通仕様に合わせた標準準拠システム移行の推進など改善を求める。

賛成 保守の会 河合 ゆうすけ　議員

賛成するが一部改善すべき。国際交流協会の一部の海外派遣事業、外国人支援事業には否定的。外国人への生活保護の見直し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術への補助増額を求める。

賛成 戸田の会 矢澤 青河　議員

中学生の給食費無償化、産後ケア事業の拡大、雨水貯留管の整備、物価高対策など高く評価。財政調整基金は災害や不測の事態に市民サービスを停滞させないための命綱。

特別会計

認定第２号　令和７年度戸田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

令和７年度 国民健康保険特別会計決算を認定

認定（賛成21人 反対3人）

賛成 戸田の会 小沼 さゆり　議員

高所得者に応分の負担を求める一方、軽減判定基準額を引き上げ、低所得世帯の負担軽減に配慮している。国の制度変更に市も合わせなければ現場が混乱し、市民が不利益をこうむることになる。

特別会計

認定第12号　令和７年度戸田市水道事業会計決算認定について

令和７年度 水道事業会計決算を認定

認定（賛成21人 反対3人）

反対 日本共産党戸田市議団 むとう 葉子　議員

水道事業法および地方公営企業法を踏まえ、水道料金の値上げは避けられた。また低所得者への減免は検討するべき。国に対し、建設改良費増額を求め、「命の水」が停止しないよう求める。

賛成 戸田の会 野澤 茂雅　議員

市民の負担に配慮しつつ施設更新に必要な財源を確保し、将来への安定給水の基盤を強化するものと評価。水道料金の負担軽減も段階的な料金引き上げと災害時の減免制度による対応は妥当。

契約

議案第 53 号　庁舎外壁及び防水改修工事請負契約について

市役所の庁舎外壁と防水改修工事を実施

原案可決（全会一致）

市役所庁舎の雨漏りや外壁の剥離など機能の劣化が見られることから、外壁改修工事、防水改修工事、塗装改修工事を実施します。

契約

議案第 54 号　後谷住宅外装・設備改修工事請負契約について

後谷住宅の外装・設備改修工事を実施

原案可決（全会一致）

市営住宅にお住まいの方が安心して居住できるよう「戸田市市営住宅長寿命化計画」に基づき、耐用年数の超過部分や老朽化が著しい箇所の改修を行います。屋上防水や外壁改修などの建築工事、電灯のＬＥＤ化や火災報知設備改修などの電気設備工事、給排水給湯設備改修などの機械設備工事を実施します。



陳情

陳情第８号（令和７年）

「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める意見書

不採択（賛成6人 反対17人）

賛成　政策ＴＯＤＡ　遠藤 英樹　議員

外国籍の方を一律に排除するような考え方は一切持っていない。しかし、国防と安全保障、国民の生命と財産は一旦損なわれれば取り返しがつかない。リスクを最小限に抑えるため、原則、国籍要件を整えることはやむを得ない措置であると考え賛成する。

陳情第１号（令和８年）	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	趣旨採択
陳情第２号（令和８年）	戸田市ヘイトスピーチ防止条例の制定に関する陳情	不採択
陳情第５号（令和８年）	幼稚園に関する行政運営に関する陳情	趣旨採択
陳情第８号（令和８年）	戸田市少年サッカー活動環境の改善に関する陳情書	採択

意見書

議員提出議案として５件を可決、１件を否決し、可決した意見書は国・政府に提出しました。

議員提出議案第 14 号

非核三原則の堅持に関する意見書

否決（賛成4人 反対 20 人）

反対　戸田の会　酒井 いくろう　議員

国民の命と平和を守る真の責任は、いかなる事態にも即応できる現実的な抑止力を追求し、第三の被爆都市を絶対につくらせない決意を行動で示すことである。防衛論議を狭め、抑止の実効性を損ないかねない本意見書に反対する。

- ◇　指定施設における不在者投票の公正性担保と外部立会人設置促進に関する意見書
- ◇　化学物質過敏症に関する対策強化を求める意見書
- ◇　夏休み中の子どもの貧困対策および緊急セーフティネットの強化を求める意見書
- ◇　地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書
- ◇　がんゲノム医療の推進及び患者の治療機会拡大に関する意見書

≪結果≫いずれも可決

委員会の審査から



総務常任委員会

市行財政運営、市有財産管理、消防行政、戸田ボートレース事業

〈令和７年度一般会計決算〉

委員　下水道事業会計に対する負担金の位置付けは。

執行部　下水道は独立会計であることから、一般会計からの繰入には基準があるが、雨水の処理については市として対応すべき事業であることから繰入れを行っている。

委員　喫緊の課題である雨水対策についても、財源の選択肢として活用できるのか。

執行部　雨水対策に限れば、当該負担金が担うものである。

〈庁舎外壁及び防水改修工事請負契約〉

委員　前回の工事の時期と今回の工事の経緯は。

執行部　前回は、平成２４年から２６年にかけて実施した免震工事の中で、外壁等の改修を実施した。一般的に外壁改修工事の周期は約２０年であるが、今回、法定点検において指摘を受けたことから、前倒しで実施するものである。

委員　本来２０年周期のものが、約10年で行う必要に迫られ、今後古くなることを加味すれば、さらなるコストの増加が予見される。このことから、工事を通じて判明した問題は議会にも共有し、根本的な対応につなげていってほしい。



老朽化により、予定より短期間での対応に迫られる庁舎外壁

文教・建設常任委員会

学校運営、教育施設、社会教育活動、建設計画並びに事業、都市計画並びに事業、交通安全、住宅行政

〈令和７年度一般会計決算〉

委員　美女木東地下道の舗装の劣化対策は。

執行部　劣化が進行しやすいことから、昨年度の修繕でアスファルト舗装とコンクリート舗装の特徴を組み合わせた半たわみ舗装を採用するなど、現場状況に応じた工法を選定している。

委員　中央図書館の新規事業の反応及び効果は。

執行部　地元企業や学校との連携が増え、来館者数増につながった。特にイオンモール北戸田でのブックポスト設置、未来屋書店の図書受取サービスの開始は利用者の拡大に寄与した。

委員　学校給食センター費の需用費について、約 4,700 万円の不用額が発生した理由は。

執行部　昨年秋に米の価格が急騰したため、米を十分に確保できるよう 12 月に補正予算を組んだ。その後、予測よりも米の価格が下がり、結果的に執行額が抑えられた。

〈令和８年度一般会計補正予算〉

委員　ＩＣＴを活用した教育・福祉の情報共有促進モデル事業について、学校と障害児支援施設間でどのようなデータを共有するのか。

執行部　これまで保護者経由で得ていた放課後等デイサービスでの様子を施設から直接把握したり、支援施設が持つ専門的な分析データを共有したりすることを想定している。



3月から、予約した図書館の本を書店で受け取れるサービスを開始

総　務　委　員　会
文 教・建 設 委 員 会
健 康 福 祉 委 員 会
市 民 生 活 委 員 会

議案などは、各委員会に付託され、慎重に審査されます。
その経過と結果について、９月 18 日の本会議で各委員長から報告がありました。
ここではその概要をお伝えします。

健康福祉常任委員会

社会福祉事業、国民健康保険事業、医療・保健行政、介護保険事業、子供・青少年の育成

〈令和７年度一般会計決算〉

委員　重層的支援体制整備事業における相談実績は。

執行部　相談実績は11件あり、いわゆる8050問題やヤングケアラーなど、世帯の抱える課題が特に深刻化しているケースを扱っている。

委員　学童保育室指導員派遣において、指導員が不足した経緯と今後の対応は。

執行部　契約内容は７名の派遣契約であり、事前に人員の確保状況等も確認していたが、急遽、辞退が相次ぎ、年度当初の派遣者は１名。その後、４名となったが仕様を満たせず、令和７年度末で、契約解除。また、入札参加停止措置も実施。今後は、令和８年度の受託事業者に聴取するとともに、関係各課と協議して今後の予算計上に反映していく。

〈令和７年度市民医療センター特別会計決算〉

委員　訪問診療の実施状況と今後の見通しは。

執行部　令和７年度は内科医不足のため訪問診療を大幅に抑制していた。令和８年度より内科医の新規採用に伴い、徐々に訪問診療を増やす方向。



学童保育室のイメージ

市民生活常任委員会

市民生活事業、上下水道・河川管理事業、経済・環境事業

〈令和７年度一般会計決算〉

委員　青色防犯パトロールの運行状況は。

執行部　平日、日中帯は２台、深夜帯は１台が市内を巡回しているほか、防犯対策活動員による車両も加わり対応している。

委員　戸田橋花火大会の実行委員会補助金の減額理由は。

執行部　チケット売上や駐車場の新たな収入確保、委託料の抑制によるもの。

委員　共創のまちづくり補助金の申請者の負担軽減や決定までの迅速化については。

執行部　事務手続の簡素化や審査体制について見直しを行っている。

委員　引き続き、使いやすい補助金となるよう検討してほしい。

〈令和８年度一般会計補正予算〉

委員　北戸田駅公衆トイレ解体工事及び原状回復に係る補正予算について、経緯や今後は。

執行部　JR東日本との高架下使用賃借契約の終了に伴い10月に使用を停止するもので、原状回復工事の後、年度末までに用地を返還する。

委員　今後、にぎわい創出やイベント開催時に仮設・常設を含めて、トイレ機能を確保してほしい。



青色防犯パトロール車両

令和８年９月定例会　そこが聞きたい

一般質問



議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。
今定例会では、22人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要で、質問者本人が執筆しています。
なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧いただけます。



そごう　拓也（たくや）議員

（政策 TODA）

録画配信

水害時の道路・車両対策

Q　水害時の道路・車両対策は。

A　浸水センサと職員で確認し、道路法に基づき通行を禁止する。美女木東地下道は冠水時に電光表示と赤色灯が自動点灯する。放置車両は協定でレッカー車を確保し移動、保管は原則公有地とする。道路啓開は緊急輸送道路から順に実施する。対応マニュアルは千葉豪雨の教訓を踏まえ改訂を検討する。

災害時のガス設備対策

Q　公共施設のガス対策は。

A　道路埋設管は耐震化が概ね進んでいる。震度５相当以上でガスメーターの安全装置が作動し供給を停止。ガス臭がないことを確認、元栓開放後、安全点検し復旧。ボンベの転倒防止は法定点検で安全確認。

小中学校のＡＩ推進

Q　小中学校のＡＩ推進は。

A　生成ＡＩガイドラインを改訂中。「ＡＩを学ぶ」「ＡＩを活用し学ぶ」双方を重視。校務DXも進める。



戸田公園駅の冠水被害



竹内（たけうち）　正明（まさあき）議員

（公明党）

録画配信

防災減災基金を活用し対策強化を！

Q　真夏の酷暑期に熊本地震が発生し、千葉豪雨は過去に例のない水害となった。この教訓を本市の防災減災対策強化の機会と捉えるべきだ。公明党は防災減災に特化した基金の必要性を訴え続け、私は平成30年12月定例会で防災減災基金の創設を提案。県内初の基金が設置され、新型コロナウイルス対応にも活用された重要な基金となった。異常気象の今こそ冠水地域や懸案箇所などへの対策を前進させるべきだ。防災減災基金をハード整備にも活用することを提案するが市の考えは。

A　積極的な検討をしていく。

子どもたちに食事と涼しい場所の提供を

Q　給食がなく、酷暑でもある夏休み期間中に、毎日食事と涼しい場所を提供する居場所をつくるべきと考える。

A　こどもの居場所ネットワーク事務局の社会福祉協議会に働きかけ、子どもたちの夏休み中の食の確保について、今後の検討課題として取り上げることを提案する。



流域治水に関する主な取組



宮内 そうこ 議員
（戸田の会）

録画配信

市民が複数の窓口を回らない支援を

Q ひとりの市民が、子育て、介護、病気、就労、生活困窮、家族の問題など、複数の悩みを同時に抱えているときに、ワンストップ窓口で支援できる体制を。

A 重層的支援体制の下、関係機関が連携して支援していく。

意見 一人の市民が複数の問題を同時に抱えることは珍しくない。市民が複数の窓口を回るのではなく、支援する側が連携して、困っている市民をワンストップでサポートしてほしい。

子育て支援サービスのデジタル化を

Q 現在は、サービスの申請のために、紙の申請書を利用施設に持っていったり、電話をかけて予約する必要がある。紙の提出や電話などのアナログな方法ではなく、オンラインで予約できるようにして、保護者の利便性の向上と、現場の業務の効率化を進めてほしい。

A 双方の声をしっかり聞いて進めていく。



オンライン予約で子育てをさらに便利に！



細田 昌孝 議員
（政策 TODA）

録画配信

利用されていないちびっ子プール

Q 1公園当たりのちびっ子プールの稼働日数は。

A 1公園当たり約 12 日間程度である。

意見 1年 365 日のうち1公園当たりで約 12 日間程度しか利用していない。そして、施設は約 50 年以上経過し老朽化が進んでおり、年間維持費もかかっている。利用されていないちびっ子プールは、町会の意向に沿って、解体・撤去を要望する。

生活道路の時速 30㌔規制

Q 令和8年9月1日から改正道路交通法が施行され、生活道路における自動車の法定速度が時速 60㌔から時速 30㌔へ大幅に引き下げられた。蕨警察署との緊密な連携による取り締まり強化は。

A 地域住民が交通事故に巻き込まれないよう、朝・夕の時間帯や、抜け道として利用されやすい生活道路における取り締まり強化を蕨警察署に要請していく。

意見 ①ハード面の整備②デジタル技術の活用③周知・啓発の強化④市自らの実践について要望する。


利用されていないちびっ子プール



佐藤 太信 議員
（戸田の会）

録画配信

感震ブレーカーの設置促進を！

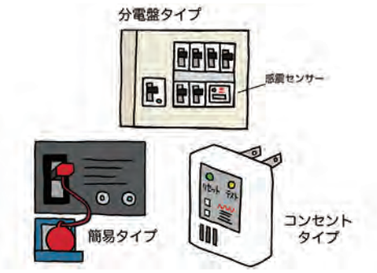
Q 感震ブレーカーは、地震発生時に一定以上の揺れを感知すると自動的に電気を遮断し、地震による電気火災を防ぐために有効な機器である。本市の設置状況の把握や、補助制度を含めた今後の設置促進をどのように進めるのか。

A 首都直下地震が今後 30 年以内に発生する確率は約 70%と予測している。市民意識調査などを活用し、設置実態の把握を検討。また、推奨機種や対象者、設置方法などを整理し、設置促進に向けた検討を加速する。

障害児における 18 歳以降の課題

Q 障害児が 18 歳以降に直面する課題、卒業後の余暇活動の充実に向けた取組は。

A 18 歳以降は、制度やサービスの切り替えへ、卒業後の進路や就労・日中活動の場の確保などが課題である。夕方や休日の居場所や活動についてもアンケート調査を実施しており、その結果を分析し、関係機関との意見交換も踏まえ、支援体制のあり方を検討する。



感震ブレーカー等の普及による効果



小山 大輔 議員
（政策 TODA）

録画配信

地域資源を生かした周遊促進

Q 地域資源を「集める楽しさ」でつなぎ、デジタルスタンプラリーなどにより、市内周遊や地域経済の活性化につなげてはどうか。

A 市民や来訪者が地域を巡り、市の魅力を体験する仕掛けとして有効である。

広場・児童遊園地へのトイレ設置

Q 公衆トイレについて、地域からの要望を踏まえ、今後の改修時などに設置を検討すべきでは。

A 改修や再整備時には、周辺施設などの状況を踏まえトイレの必要性を検討する。

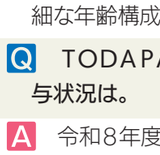
運転手確保策の具体化

Q バス・タクシーの運転手不足に対し、第二種免許取得、就職、定着への支援を含め、実効性ある確保策を具体化すべきでは。

A 本年度から支援策の検討を始めている。就職・定着支援も含め、地域公共交通協議会で議論を重ね、具体化していく。



地域資源を巡る仕掛け



三浦 のぶお 議員
（公明党）

録画配信

車中泊避難の環境整備

Q 災害時、車中泊を選択する避難者を孤立させないため、避難場所や生活環境、電源を平時から整備する考えを伺う。

A 車中泊避難場所の確保に努め、選定した場所は事前に周知する。また、暑さ寒さ対策や環境整備を他自治体の事例も参考に調査する。避難者は物資配給や防犯パトロールなどで把握することを想定している。民間事業者との連携による電源確保についても研究する。

意見 車中泊を推奨するものではないが、実際に選択する避難者を想定し、避難場所、物資、情報、電源などを一体的に確保することが重要である。熊本市などの先進事例を参考に、平時から実効性のある支援体制を構築するよう期待する。



災害時の車中泊避難ステーション



石川 清明 議員
（公明党）

録画配信

TODAPAYの活用促進

Q TODAPAYサポート窓口の利用状況と年齢構成は。

A 第6弾の事業では、合計 503 人の利用があり、詳細な年齢構成は把握していないが、大半は高齢の方。

Q TODAPAYポイントの実施項目とポイントの付与状況は。

A 令和8年度は、節エネスポットの利用者へのポイント付与のほか、SDGsイベントや骨粗しょう症検診、禁煙チャレンジ教室への参加促進、コバトンALKOOマイレージの普及促進など、8つの事業で活用を予定。付与状況は節エネスポットの利用者に対し、延べ11,285 人、225,700 ポイントを付与。

Q TODAPAYの高齢者の登録と利用方法、ポイント付与への今後の取り組みは。

A サポート窓口やコールセンターで登録と利用の支援を行うとともに、庁内各課と連携し、ポイント事業の更なる活用に向けて取り組んでいく。



サポート窓口を開設しています



小沼 さゆり 議員
（戸田の会）

録画配信

文化会館を文化芸術の入口に

Q 文化芸術は、市民の心の豊かさや地域への愛着、人とのつながりを育むものである。市民アンケートでは「興味関心がない」「興味はあるが鑑賞したいものや機会がない」との回答が多かったとのことである。市民が気軽に文化芸術に触れ、参加できる取組は。

A 文化芸術の鑑賞や参加の場所、機会の充実が課題。文化会館を活用し、文化祭、音楽祭、市展などの充実を図り、より多くの市民の参加機会を提供する。

Q ホール公演だけでなく、ロビーやホワイエでの展示、音楽とアートを組み合わせた事業など、文化会館全体を活用してはどうか。

A 色々な文化芸術に触れる機会が多くなる可能性があることや、他分野で活動する方同士のつながりも期待できる。提案を参考に、運営者と検討する。

意見 文化会館を「観る場所」から「出会い、交流し、新たな活動が生まれる場所」へ。事業と施設の魅力を高め、文化芸術の裾野を広げることを期待する。



誰もが芸術に触れられる場を



野澤 茂雅 議員
（戸田の会）

録画配信

本市の空き「市有地」の利活用

Q 新曽 168 番地等の施行者管理地や空き地などの未利用資産を利用開始まで一定期間、活用できないか。

A 土地区画整理事業地内の施行者管理地は期間限定の暫定利用を想定していない。その他、目的等を制限していない未利用地は引き続き活用の検討を進める。

意見 土地区画整理事業地を含め、事業の進捗や権利関係に支障がなく、一定期間使用予定のない土地について、期間を区切った貸付けや暫定利用の仕組みを。

中学校部活動地域展開

Q 令和9年9月からの地域クラブ体制は。

A 事業全体の運営・管理を行う「統括コーディネーター団体」を設置し、その下に「自主運営型地域クラブ」と「直営型地域クラブ」の２種類の地域クラブを設置。

意見 これまでの部活動が培ってきた教育的価値を次の時代へつなぎ、生徒の選択肢と可能性をさらに広げ、やがて地域を支える側へと育っていく。そのような未来につながる「戸田型の地域展開」の構築を。



施行者管理地 / 新曽 168・上戸田 124



浅生 和英 議員
（戸田の会）

録画配信

見えないカビの不安、対策強化へ

Q 学校体育館などの空調設備について、市民から「見えないカビへの不安の声」が寄せられた。現在、建物点検マニュアルにカビに関する衛生点検項目はない。公共施設の衛生管理や空気環境の実態を確認するとともに、喘息や呼吸器疾患などの健康被害を防ぐため、点検体制の強化や計画的な分解洗浄などを求めた。また、施設ごとに管理方法が異なる現状を指摘し、事務負担軽減も見込める全庁的な維持管理ガイドラインの整備や、公共施設全体の空調設備を効率的かつ計画的に管理する包括管理の導入を提案した。

A 公共施設では定期的な清掃や点検を実施しており、今後は建物点検マニュアルに吹き出し口の衛生状態を確認する項目を追加するなど、チェック体制の強化を検討する。また、包括管理委託については現時点で導入予定はないものの、一般的にスケールメリットが働くという利点があるため、より良い施設管理の在り方について引き続き研究していく。



空調設備点検の様子



辺見 智子 議員
（戸田の会）

録画配信

窓口短縮に伴う市民サービス維持を

Q 窓口は市民との基本的な接点であり、見直しにあたり日中多忙な方やデジタルに不慣れな方など誰一人取り残されてはならない。他自治体の先行事例では、市民サービスの低下を招かないよう工夫がなされている。維持向上の観点から伺う。

A 持続可能な行政運営や業務効率化のため、令和９年２月から１２月まで試行する。受付時間は９時から１６時３０分に変更し、水曜延長窓口および日曜窓口は原則廃止を予定。コンビニ交付やオンライン申請の普及などの効果を検証するとともに、広報紙など、あらゆる手段を用いて丁寧に周知し、非対面サービスの充実など代替手段の確保にも努める。

意見 デジタルに不慣れな方への伴走支援、各課が創出した時間で手厚い対面サービス、市民が自発的に非対面を選びたくなる利用促進など窓口の縮小にならぬよう、試行期間中で、市民の声や現場の工夫に耳を傾けて双方がメリットを実感できるよう要望する。



ご利用の際はお気をつけください



古屋 としみつ 議員
（政策 TODA）

録画配信

市内３駅のホームドア整備を前へ

Q 戸田駅・北戸田駅のホームドア整備と周知は。

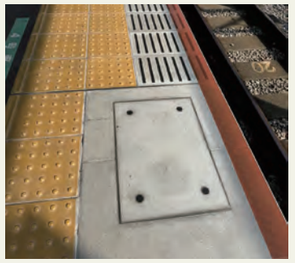
A りんかい線の車両入れ替え後、令和９年度下半期に本体を設置し、年度内の供用開始に向け準備していると聞いている。周知は明確になった段階で行う。

意見 令和９年度内の見通しや、車両入れ替えを待つ事情を今から伝えるべき。工事が進んでいないように見える市民の疑問に応えるよう情報発信を求める。

Q 戸田公園駅は設置時期が示されていない。整備の見通しと、ＪＲ東日本への働きかけは。

A 具体的な設置時期は示されていない。８月６日に市長がＪＲ東日本大宮事業本部長と直接面談し、先行する２駅に続く早期着手を要請した。

意見 ひとたび人身事故が起きれば、市民のみならずＪＲ職員にも大きな心理的負担がかかる。市長には、協議の際にＪＲとこの思いを共有し、具体的な課題や条件を確認しながら、要請から交渉へと粘り強く進め、整備の実現につなげていただきたい。



ホームドアの設置を待つ北戸田駅



河合 ゆうすけ 議員
（保守の会）

録画配信

大雨や地震災害への対応

Q ８月 13 日からの大雨警報（浸水害）の被害はいかほどで、その対応はどのようなものであったか、今年完成した北大通り雨水貯留管の状況や効果はどのようなものであったかを問う。

A レベル３大雨警報が発表され、監視体制を配備、危機管理防災課を中心に監視を実施した。雨水貯留管の状況は 25 メートルプール約 34 杯分の雨水を貯留したことで道路冠水の軽減に充分な効果があった。

Q 本市において将来、熊本地震と同規模の震災が発生した場合、いかに被害を出さないようにするのか、今後の対策について伺う。

A 災害対策本部訓練や初動対応訓練を実施し、市職員の災害対応力の習熟を図るとともに、食料や飲料水などの備蓄品の定期的な入れ替えや、防災行政無線や非常災害用井戸などの防災施設の整備を行った。今後は取り組みを継続し、各地の災害の教訓から学び防災行政を推進する。



北大通り雨水貯留管



むとう 葉子 議員
（日本共産党戸田市議団）

録画配信

高齢者福祉の充実を

Q 来年４月、第 10 期介護保険事業計画が始まる。①介護保険料の引き下げを②独居高齢者へのごみ出し支援を③トコバス無償化やタクシーチケットの配布で外出支援を④敬老祝品の増額と対象年齢を 65 歳に⑤おむつ利用者の支払いを振込可に⑥訪問介護事業所への財政支援を⑦ケアマネジャーなどの安全対策は⑧介護認定申請書類などの簡素化や電子申請の準備は。

A ①引き下げは困難。国へ財政拡大を要望する②「まごころ収集」は６世帯が利用。必要な支援とのマッチングに努める③公平性の観点から新たな外出支援は考えていない④財源の観点から増額も困難⑤前向きに検討⑥国の処遇改善加算を周知⑦ハラスメント対応マニュアルなどの周知や防刃チョッキや防犯ブザーなどの費用助成で対応⑧電子申請を検討する。

意見 公費を使って、介護保険料への財政措置を。ゴミ出し支援「まごころ収集」の周知を。買い物が楽しくなるような支援を要望する。



ごみ出し支援で、転倒防止!!



花井 あきこ 議員
（日本共産党戸田市議団）

録画配信

北戸田駅前公衆トイレ廃止後は

Q 廃止に至った経緯は。

A 昭和 62 年からＪＲの高架下用地を借りて設置している。ＪＲが 10 月以降、トイレにつながる下水管などを撤去するため使用できなくなり、10 月 12 日で閉鎖、11 月以降に撤去する。

Q まちづくりウォーカブル事業との整合性は。

A トイレは公衆トイレに限らず、駅や民間施設など地域全体で確保する考えである。11 月の北戸田駅周辺の社会実験で、トイレの必要性もアンケートで確認できると見込んでいる。

Q 「トイレを残してほしい」と言う声が多く寄せられているが、移設・新設する考えは。

A 廃止後もボール公園や駅、商業施設などにトイレがあるため、機能が全て失われるわけではない。用地取得や建設・維持管理費も考慮し、新設・移設を進める考えはない。



北戸田駅前公衆トイレ



遠藤 英樹 議員
（政策 TODA）

録画配信

頼れる身寄りのない方への終活支援

Q 本人の生前の意思に基づく葬儀・納骨契約、死後事務などについて、行政が相談、見守りおよび履行確認の面から支援する制度の導入の考えは。

A 第二種社会福祉事業に位置付けられた法改正の趣旨を踏まえ、独自の終活支援制度の導入について関係機関と連携しながら準備していく。

図書館読書くじチャレンジ

Q 本イベントが成果指標の貸出冊数の増加以外に、利用者の増加や「学びの習慣化」につながると考えるか。

A 本イベントのみで評価せず、利用者の反応などを継続して捉え、図書館サービスの改善に取り組む。

駅における自転車などの通行

Q 市内３駅を反対口に向かう際、自転車や原付自転車などが降車せずに通行する事例を把握しているか。

A ＪＲも警察も事例を把握している。本年４月より「自転車の交通違反通告制度」が開始されていることも踏まえ、連携して安全対策の充実を図る。



本を借りる場から本と過ごす場に



山屋 佳代 議員
（戸田の会）

録画配信

現代の新たな食育推進に向けて

Q 孤食・個食の増加や地域の食育団体の解散を踏まえ、生命や心の健康に直結する「食」は重要で、現代に即した新たな食育推進体制の再構築や「共食」機会の創出に向けた本市の認識と今後の取り組みを伺う。

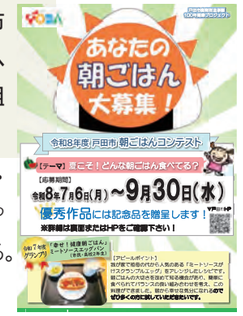
A 食育団体募集や共創補助金事業で人材育成を進め、地域の担い手を拡大する。 また、親子朝ごはん料理教室などを継続・工夫し、食への関心や家族などのコミュニケーション向上を図る。

意見 多世代が気軽に集える共食の場やコンテスト開催、オンライン料理教室、食堂などの導入、簡単・時短レシピの周知、スマートミール認証店の拡大などを通じ、市民が楽しく継続できる食育の推進を要望する。

文化財を継承する取り組みは

Q 先人から受け継いだ本市の文化財を守り、次世代へ継承するための認識と取り組みは。

A 指定文化財への保存支援・補助を行うほか、広報ＰＲや展示などで支援・継承を図る。



朝ごはんコンテストのチラシ



本田 哲 議員
（日本共産党戸田市議団）

録画配信

中学生の広島派遣事業の継続を

Q 共産党は、平和事業の充実を求めてきた。今年度実施された中学生の広島派遣事業は継続すべき。

A 参加した生徒からの評価も高く、事業効果も大きいことから、継続を検討していく。

戸田スポ整備は既存施設の活用を

Q 戸田市スポーツセンターの建て替えを前提とする基本構想案が策定された。同センターの耐震状況は。また、既存施設は今後どの程度使用できるか。

A 平成 15 年に耐震工事実施。必要な改修などを行えば、整備完了見込の令和 17 年から 15 ～ 20 年程度使用可。

意見 建て替え（グランド再整備含む）の概算事業費は約 197 億円。既存施設の活用（グランド再整備含む）は約 80 億円。耐震化も終え、必要な改修などを実施すれば 15 ～ 20 年程度使用できることを踏まえれば、既存施設を活用し整備すべきである。建て替えありきではなく、物価高騰で苦しむ市民生活を十分考慮し、整備方法を判断することを強く要望する。



市民生活を十分考慮した整備を



矢澤 青河 議員
（戸田の会）

録画配信

こども・若者の意見聴取を！

Q こども基本法に伴い、こどもの意見反映が自治体の責務となった。意見の数が政策実現に直結する一方、選挙権や代弁組織のないこどもの声は構造上届きにくい。また、大人主導の計画やルールはトラブル防止や管理優先となり、利用されない施設になる懸念もある。こどもの意見反映は、幼少期から意見を伝える習慣を育み、将来の主権者意識を醸成するだけではなく、大人側の意識変革をも促す。その第一歩が、市が声を求めていることの周知や日常的な窓口の確保など、意見を言いやすい環境づくりである。学校タブレットやＳＮＳの活用、公共施設や駅、公園などへの意見板やＱＲ付きチラシの設置など、こども・若者が普段から利用する場所やツールによる周知、意見聴取が効果的と考える。市の取組について伺う。

A 計画策定や公共施設、公園に関する施策などへ意見を反映させたり、学校タブレットにも次世代応援ポータルサイト「TocoToco」を登録し周知している。



こどもが意見を言いやすい環境を



小金沢 優（こがねざわ まさし） 議員
（りっけん戸田）

録画配信

未来への投資「ＨＰＶワクチン」

Q 男性へのＨＰＶワクチン接種をどう考えるか。

A 現在は任意予防接種のため個別の接種勧奨は行っていない。国が定期予防接種化を検討しており、決定した場合は広報などで周知し、対象者へ勧奨する。先行自治体の制度や課題を調査した上で、財政面も考慮しながら公費助成も検討する。

意見 ＨＰＶを女性だけの問題とせず、男女一緒に取り組む予防医療として考えることが重要。今後、若年層や保護者への正しい情報の周知とともに、取り組みの前進を期待する。

市民の安心につながる墓地政策

Q 市営墓地や広域連携についてどう考えるか。

A 立地や維持管理などの課題から検討していない。

県道における防犯灯整備

Q 県道沿線の防犯灯設置にどう対応するのか。

A 市による防犯灯設置も県の道路占用許可が得られれば可能で、具体的課題があれば県と調整する。

都道府県	累積接種率	全国順位
東京都	37.7%	1位
埼玉県	24.9%	30位

ＨＰＶワクチン接種率（令和8年8月時点）



酒井 いくろう（さかい） 議員
（戸田の会）

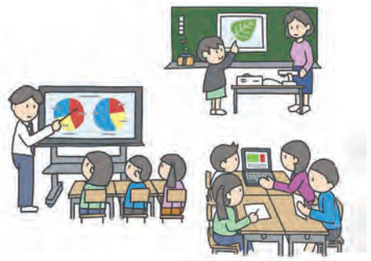
録画配信

教育ＩＣＴの適切な活用を！

Q ＩＣＴの活用が進む一方、過度なパソコン使用による悪影響が懸念される。①ＡＩ活用により基礎学習を効率化し、浮いた時間を探究や人間的スキルの習得に振り向けるべき②低学年からデジタル中心の宿題や読書はいかがなものか。記憶の定着や流し読みなどの問題がある。児童の年齢・発達段階に応じたパソコン使用のルールづくりを③学校パソコンの持ち帰りについて、お困りの声を聞いている。不適切な使用を防止するための指導・対策の強化を。

A ①効率化のみを目的とせず、学習目的に応じて活用②発達段階や学習目的などが異なるため一律の基準は設けず、紙などと適切に使い分けていく③必要な管理と指導を組み合わせ、適正利用を図っていく。

意見 ＩＣＴ使用が「適切」と判断するには根拠が薄い。まずは判断を見直し、モニタリングやデータ収集、家庭での利用時間や学習目的外使用などの実態調査など根拠を収集してはどうか。



授業のＩＣＴ化が進んでいる

議会傍聴案内

議会は誰でも傍聴することができます。予約は必要ありません。



▼傍聴の流れ▼▼▼▼▼▼▼

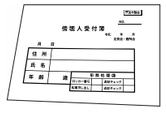
STEP 1

本会議傍聴→市役所８階傍聴受付にお越しください。
委員会傍聴→市役所６階議会事務局にお越しください。



STEP 2

受付簿に必要事項を記載していただきます。



STEP 3

傍聴の心得を守り、傍聴してください。会議の途中でも入退場は可能です。

STEP 4

お帰りの際に、傍聴券を係員に返却してください。



その他

直接議場に来ることができない場合には、パソコンやスマホなどで視聴することもできます。

議会録画中継 QR コード

字幕用モニターを設置して、わかりやすい発信に努めています。



議会 topics（トピックス）

中学生社会体験チャレンジ



中学生が議会の職場体験に来ました！



傍聴受付

昨年に引き続き、今年も中学生が戸田市議会にやって来ました！今回は新曽中学校から３名の生徒が、９月７日から９日までの３日間、職場体験を行いました。

期間中は、市議会がどのように市制に関わっているかといった議会の仕組みを学ぶとともに、それを市民へどのように伝えるかという広報活動にも挑戦。本会議前の準備や議会広報委員会への出席、議会 SNS の更新など、議会運営に関わるさまざまな業務を体験していただきました。

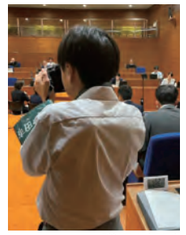
このような実践的な学びが、社会の一員としての意識を深めるきっかけとなり、戸田市の未来のためにも住みよいまちづくりや政治に対する関心につながることを願っています。



議会広報委員会で意見を発表



議場のマイクテスト



議場を撮影



本会議前の準備でモニターの確認



会議の様子を写真撮影

参加者の声



井比 尊（いび たける） さん

社会体験チャレンジを通して、議会で何が話されていて議員さんはどのような仕事をしているのか、また議会事務局のことも知ることができました。他にも議場に入ったり委員会に出て意見を出したりと、本当に貴重な体験をし、たくさんのことを学ぶことができました。

最初、自分の体験する事業所が分かったときは厳しそう、怖そうと思っていたけれど、いざ仕事をやってみると楽しくて、この事業所で本当によかったと感じています。自分たちとかかわりがとても少ない議会や議会事務局、議員さんの仕事に興味を持つことができました。３日間貴重な体験をありがとうございました。この体験を学校生活でも生かしていきたいです。



神保 晴織（じんぼ はるおり） さん

僕はこの3日間で「戸田市議会事務局がどのようなことをしているのか」や、「どのような場所なのか」を学びました。最初は議会事務局という場所があることすら知らなかったのですが、議場のセッティングやマイクの確認といった会議の準備を一緒に行うことで、議会事務局が裏方として戸田市の今の環境を作る一部分を担っていることを知ることができました。

最初は戸田市役所と聞き、厳しい場所なのかなと思っていたけれど職員の方々は明るく、優しく非常に馴染みやすかったです。また、やるべきことを丁寧に教えてくださり、最終日には職場体験が終わってしまうと考えると悲しかったです。



髙野 真幸（たかの まさき） さん

職場体験では、戸田市の議員さんなどの人たちがどのようにして戸田市をよくしようとしているのか、実際に行って、多く知ることができました。

そして、職場体験中に議員さんや議会事務局の職員さんが積極的に話しかけてくださったりしたので、初日はすごく緊張していましたが、３日目までにどんどん緊張がほぐれて気楽に参加することができました。

また、この職場体験で今まで知りえなかった職業について学び、興味を持てるようになりました。３日間本当に楽しかったです。

市内３駅で駅頭募金活動



駅頭募金活動の様子

「令和８年熊本地震」により亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。被災された地域の方への支援として、８月17日に市内３駅で駅頭募金活動を行いました。その結果、35万344円の募金が集まり、全額熊本県に送金しました。ご協力ありがとうございました。また、議員一人当たり１万円、計25万円を熊本県に送金しました。

戸田市議会 DCP 災害対応


議員から情報提供のあった道路冠水の様子

８月２２日、記録的短時間大雨により戸田市災害対策本部（レベルB）が設置されました。戸田市議会DCP災害対応に基づいて支援本部を設置し、各議員の安否確認を行いました。また、各議員から地域の被害情報を収集し、市の対策本部への情報提供を行うなど、早期の被害状況把握に効果をあげました。

シェイクアウト訓練を実施


シェイクアウト訓練の様子

令和８年９月定例会開会日冒頭にシェイクアウト訓練を実施しました。本会議中に地震が発生したことを想定して、身を守るための安全確保行動（①まず低く DROP ②頭を守り COVER ③動かない HOLD ON）を行う訓練です。いざというときにすばやく反応できるよう、日頃から練習しておくことが大切です。

第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会に出場しました



大会に出場した議員メンバー

９月26日、27日の２日間、第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会が福島県喜多方市内にて開催され、本市議会からは「サクラソウ」「モクセイ」の２チームが出場しました。本市議会として初めて、漕手全員を女性議員で構成したクルーが「モクセイ」として出場。議会議員の部で新たな一歩を踏み出しました。結果は、「サクラソウ」が２４チーム中９位、「モクセイ」が１８位でした。また、大会を通して、市民クルーや他市町村議会との親睦を深めることができました。

市制施行６０周年記念式典・記念樹贈呈


美里町より贈られた記念樹の植樹

戸田市は10月１日に市制施行60周年を迎え、10月３日に戸田市文化会館で記念式典が挙行されました。式典では、記念映像の放映や各種表彰、市民団体によるパフォーマンスが行われ、会場は温かいお祝いの雰囲気に包まれました。三輪議長が来賓として祝辞を述べ、60年の歴史を紡いできた先人たちへの深い感謝とともに、市のさらなる飛躍と誰もが輝ける未来への発展を誓いました。また、市制施行60周年を記念し、姉妹都市・美里町から、町の特産品であるブルーベリーの記念樹が贈呈されました。

委員会視察レポート



本市議会では、委員会ごとに「年間活動テーマ」を決めて、本市の現状や先進地における取り組みについて各委員会で視察を行っています。

文教・建設常任委員会　多様な学び・活動を支えるサードプレイスとしての図書館へ

【アキシマエンシス（東京都昭島市）】
　利用者ニーズに即したさまざまな図書閲覧・学習環境が備えられ、令和２年の開館時から利用登録者数が倍増しています。施設内には市の象徴であるクジラの資料を展示し、郷土意識の醸成につなげています。

【武蔵野プレイス（東京都武蔵野市）】
　図書館を中心に生涯学習、市民活動、青少年活動支援機能を併せ持つ施設で、利用者に交流や表現の場を提供しています。若い世代の利用率が高く、多くの中高生の居場所になっていました。


入口ホールの原寸大化石（アキシマエンシス）



テーマごとに独自の分類（武蔵野プレイス）

市民生活常任委員会　足立区の防犯対策を視察して

【東京都足立区】
　「ビューティフル・ウィンドウズ運動」を掲げて、体感治安の把握と刑法犯認知件数のデータによる現状分析の両面から防犯対策に取り組んでいます。さらに、犯罪動向に応じた優先順位として、特殊詐欺対策、自転車盗対策などに力を入れています。具体的には、無施錠の自転車に取り付ける警告札「セメタグ」など、届けるプッシュ型の支援を実施しています。体感治安の把握と、流出入人口が多い地域特性を把握したプッシュ型支援の考え方は参考となるものでした。


足立区視察



足立区ビューティフル・ウィンドウズ運動

議会改革特別委員会　他市議会における優れた議会改革の取り組みを学ぶ

【愛知県岩倉市議会】
　住民基本台帳から無作為抽出した市民に対して案内を送ることで、多様な市民が市議会サポーターとして議会に関わっています。これまで議会活動に関心を持っていなかった市民にも届いていました。

【愛知県半田市議会】
　すべての議員が、予算・決算委員会に所属し、予算・決算の一体的な審査を行う点や、分科会において所管外委員が質疑できる点など、全議員が一体となって携わろうとする姿勢が強く感じられました。


市議会サポーターの方からもお話を伺いました

議会広報委員会　親しみやすい投稿で多世代に届く議会ＳＮＳに

【大阪府枚方市議会】
　10代から30代の若い世代に届くよう、画像や短い動画で視覚的に訴えるＩｎｓｔａｇｒａｍに力を入れており、市議会公式マスコットキャラクターを活用したＰＲやＣａｎｖａを使ったフォーマットの作成など親しみやすい投稿に取り組んでいます。

【静岡県静岡市議会】
　市政やまちづくりをテーマに高校生との意見交換会を実施しています。高校生の議会に対する興味関心や地域課題への意識向上につながるとともに、議会にとっても高校生の率直な意見を受け止める貴重な機会となっています。


枚方市視察



明るくポップなインスタグラム（枚方市議会）

市議会モニター募集中!

本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧いただき、議会運営に対する意見の提出などをしていただきます。

【応募資格】次の①②の要件を満たしている方
① 18 歳以上の市内在住・在勤・在学している方（公務員は除く）
②議会の仕組みとその運営、市政や地域社会の発展に関心のある方

【募集人数】15 人以内

【任　　期】令和９年２月６日から１年間
※謝礼として図書カード進呈

【募集期間】令和９年１月 15 日（金）まで

【申し込み】「応募票」に住所、氏名、年齢、性別、職業、応募理由を記入して、議会事務局へ直接持参、または郵送、ＦＡＸ、電子メールのいずれかで応募してください。応募票は議会事務局で配布しているほか、ホームページからもダウンロードできます。
※議会事務局の住所、ＦＡＸ番号、メールアドレスはこのページの欄外をご覧ください。

【選考方法】書類選考の上、決定し、結果は応募者全員へ通知します。



題字を書いてくれた人



今回、議会だよりに載せていただけることができて本当に嬉しいです。『とだ』の字を書くとき、『と』の形のバランスと、『と』と『だ』の文字の間隔を意識して書きました。特に『と』のバランスを維持するのがとても難しかったですが、最後まで『気合いを込めて書くぞ!』という気持ちを込めて書くことができました。

笹目中学校　３年
小澤（おざわ）　萌椰美（もなみ）さん

次回 12 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
					11/27 議案説明	28
29	30	12/1	2	3	4 質疑	5
6	7 常任委員会	8 特別委員会	9 一般質問	10 一般質問	11 一般質問	12
13	14 一般質問	15	16	17	18 討論採決	19
20	21	22	23	24	25	26

知っtoco（トコ）クイズ No.17 当選者発表!

おめでとうございます!



6月定例会号「知っ toco クイズ（No.17）」の正解は、問1「60（周年）」、問2「エアコン・冷蔵庫」でした。
正解者の中から抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

★大熊　元さん　★後藤　剛士さん　★大木　寛之さん　★内藤　美登里さん　★中村　壱子さん

ほっとコーナー

文化・スポーツの秋、食欲の秋でワクワクしますね！ただ地球温暖化がとても心配で、なるべく二酸化炭素を出さないように頑張っています♪ 外出は自転車を使うこと、食べ物を残さず食べること、植物を植えることです。皆さんのエコ生活も、今度、教えてください（葉）

秋から冬へと季節が移り、街の景色も少しずつ変わってきました。2026年も残りわずか。少し寂しさを感じながら、温かい飲み物や夕暮れの風景、地域で交わす何気ない会話など、日々の「ホッとした時間」を大切にしていきたいです。（そ）

スポーツの秋。身体を動かしていますか？ジョギングで秋風を感じたり、好きなスポーツで仲間と笑い合ったり。心地よい汗をかいて、心も身体も軽やかに。私のお気に入りは「モルック」。皆さんも、自分らしい秋を！（野）

秋は地域のイベントが楽しみな季節。自転車で出かけ、皆さんと話していると、次にやりたいことが次々と浮かびます。おいしいものを食べて元気も充電。スポーツも地域活動もフル加速！今年の秋も、じっとしていられません。（古）

戸田市
発行：戸田市議会　編集：議会広報委員会
〒335-8588 戸田市上戸田１丁目 18 番１号
UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています
本紙は環境に配慮しバイオマスインキを使用しています

議会に関するお問い合わせは議会事務局まで　TEL 048-441-1800（代）FAX 048-433-2212　メール　gikaijimu@city.toda.saitama.jp

※「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です